

# 地域密着共通ポイント

失効分が寄付に回るユニークな共通ポイントカードがある。カード大手が会員の獲得と囲い込みにしおぎを削る中、地域で独自に展開するポイントカードのプラットフォームとして、じわりと存在感を高める異色のビジネスモデルだ。

プロバスケットボールBリーグ「秋田ノーザンハピネッツ」のホーム、CNAアリーナ★あきた(秋田市)には試合当日、開場前から長い列ができる。ファンの楽しみは入場時にポイントがつくゲームだ。

専用端末がファンクラブ会員のカードを読み取ると、選手がランダムに表示され、その背番号分のポイントがつく。最小は水町亮介選手で2ポイント。長谷川誠ヘッドコーチだと一拳に100ポイントたまる。

1ポイント1円。チケットが買えたり、非売品グッズがもらえたりする。

秋田市内の飲食店や理容店など加盟店16店舗でも、共通ポイントとして使える。

店側は来客が期待でき、会員の顧客データベースを販促にも生かせる。ハピネットの運営会社、秋田プロバスケットボールクラブの高畠靖明専務(39)は「ポイントが中心になり、チームもお店もファンや顧客を開拓できれば」と話す。

このシステムを運営するのはカードサービス会社「サイモンズ」(東京)。カードは約500種類。会員は全国に140万人いる。

三社祭で有名な浅草神社(東京都台東区)は3年前から、お守り型サイモンズカードを氏子らに配る。お守りとして持ち歩いてもらいたい選手がランダムに表示され、その背番号分のポイントがつく。最小は水町亮介選手で2ポイント。長谷川誠ヘッドコーチだと一拳に100ポイントたまる。

伊勢丹相模原店(神奈川県相模原市)は、地元商店街と協力して「相模大野ポイントカード」を2年前から発行。地域の店で買い物してもううため、伊勢丹で始めたポイントは伊勢丹で

い、料理や川柳、着付け教室といった神社の催しに参加すればポイントをつけられる。祈禱料など神事には充てられないが、サイモンズ加盟店なら全国どこでも使

える。

禰宣の矢野幸士さん(43)は「財布を開けるたびに神社を思い出してもらえば」。会員向けに神社の情報

を発信することも検討中だ。

伊勢丹相模原店(神奈川県相模原市)は、地元商店街と協力して「相模大野ポイントカード」を2年前から発行。地域の店で買い物してもううため、伊勢丹で始めたポイントは伊勢丹で

全国に広がるサイモンズのカードと齊川満社長。カードのデザインも多彩だ=東京都中央区

## ■サイモンズの主なカード

名称/概要や失効ポイントの寄付先
伊達まちカード (北海道伊達市) 健診でポイントをため、道の駅などで活用
たかすサポーターズカード (北海道鷹栖町) 町外出身者らが活用。保育園の図書購入に
JIMOカード (群馬県) 家賃や電気代支払いでのポイントがたまる
ふなっしーポイントカード (千葉県船橋市) 東日本大震災の被災地を支援
枚方が好きやんカード(大阪府枚方市) 市内の商店主らが地域の活性化に
垂水市応援カード(鹿児島県垂水市) 首都圏の市出身者など向け
ピカリヤ~カード (沖縄県竹富町) 主な観光施設で観光客データベースづくりにも

は使えない。同店の仁田正俊マネージャーは「街全体を盛り上げたかった」。カードの発行費も伊勢丹が負担したという。

サイモンズカードの特徴は、有効期限が過ぎた「失効ポイント」は地域に還元すると決めている点だ。ついたポイントは、使わないと翌年末で有効期限が切れると、翌年末で有効期限が切れる。ハピネットでは昨年、小学生のバスケットチームに贈られた。「相模大野」は地域の子育てサロンに15万円を寄付した。全体の寄付額は累計で約8千万円になる。

サイモンズの齊川満社長(65)は前職の日本航空時代、マイレージカードの普及を担った。ポイントが失効すれば会社の負担は減るが、「お客様の資産を会社の懐に入れるのと一緒に」と話している。

(佐藤秀男)